



プレスリリース

令和3年度草の根・人間の安全保障無償資金協力：

ガルガル村飲料水設備及び村立学校改修計画 供与式の実施

エレバン：令和7年1月31日

令和7年1月31日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ガルガル村飲料水設備及び村立学校改修計画」（供与限度額：96,957米ドル）の供与式が、ガルガル学校（小中高）において開催されました。本式典には、青木豊駐アルメニア日本国大使、ゴル・アスリャン・ロリ州副知事、カチク・ヴァルダニャン・グッラガラク市長、ゴル・アガジャニャン・ガルガル村長が出席したほか、学校関係者や地元住民等が参加しました。

本事業は、ロリ州ガルガル村唯一の学校であるガルガル学校の校舎の改修（改修面積 207.80 m²）及び同村の一部水道管の整備（水道管敷設距離合計 710m）をすることで、同校をはじめ、同村の公共施設への安全な水道水の供給を図り、もって同地域の教育及び生活の質向上に寄与することを目的としています。校舎改修により、これまでの午前・午後の2部制授業を解消し、生徒 170 名が全日制の環境で学習できるようになります。また、ソ連時代から使用されていた老朽化した水道管を更新することで、医療施設や学校等の公共施設に安全な水道水を供給することが可能となります。

ゴル・アスリャン・ロリ州副知事は「日本の支援のおかげで水インフラが改善され、人々の生活の質向上につながりました。また、校舎改修のおかげで、これまでシフト制だった学校教育が全日制となり、子供達の学習意欲も向上しています。日本を始め、成功裏に終えることのできた本事業に関与したすべての関係者の協力を深い感謝の意を表したいと思います。」と述べました。



関係者に祝辞を述べる青木大使



関係者に祝辞を述べる

ゴル・アスリャン・ロリ州副知事



改修された教室を視察する青木大使



生徒による「ՇՆՈՐԱԿԱՐԿՄԱՆ
(シュノラカルテュン、ありがとう)」
のメッセージ